

申4号 ▶ 2024年度年末手当に関する申し入れ

本日（11月6日）Part①

第2回交渉開催!!



労働者と会社とは決定的かつ、大きな溝!!

●組合の主な主張

・業績動向について、単体の営業収益は1兆261億円（対前年687億増）となった。今決算をコロナ前の2019年3月期決算同時期と比較すると営業収益は97%まで回復した。この業績をどう見ているのか。

■会社の主張

・社員一丸で取り組んだ結果として、大幅な回復をした決算がある。
・（営業収益は）過去との比較で言えば、コロナ前と極めて近い数字になっているのは事実。しかし、営業利益はそこまでの水準に達していない。

営業利益（数字）だけで判断？ 社員の労苦は？

●組合の主な主張

・営業、運車、工務、かんり、きかく、医療、青年層の労働実感、生活実感等、中央本部に寄せられた切実な声を訴える。



■会社の主張

・社員の労働実感をしっかり受け止める。
・安全安定輸送の確保へ取り組んでいただき感謝している。社員のみなさんの頑張り、各系統の取り組みの結果が決算に出ているのは事実である。
・業績を客観的に見る必要がある。

「業績を客観的に見る」と繰り返し回答!

会社回答に納得感は一切持てない!!

社員・職場の努力を見ない経営姿勢は許さない!!